

新入荷商品のご紹介



美術工芸 啓 名古屋帯
 295000円
 特集でも取り上げた『美術工芸 啓』の名古屋帯。美しいキモノ2021年春号に掲載された自慢の逸品です。



撫松庵 帯留め
 9680円
 透明感のあるガラスの帯留めとレトロな柄の帯締めが魅力の撫松庵の帯留めです。半巾帯などに、あわせると帯まわりキリリとひきしまります。



衿秀 利休バッグ 雪輪
 44000円

雪輪の柄を配した衿秀の利休バッグ。飽きの来ないデザインで、季節を問わない雪輪の柄がモダンでおしゃれです。



撫松庵 半巾帯
 41800円
 しっとりとした締めやすい正絹の生地に、松の柄と帆船の柄を帯留め風につけた撫松庵のモダンな半巾帯です。

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2021年3月号

ごあいさつ



温かい日が増えてきて、花粉症の方はつらい季節になってきました。私自身は、この季節はあまり影響がないようですが、ポカポカ陽気に、とにかく毎日睡魔ととの闘いです。とはいえ、希望に満ちた一年で一番好きな季節です。

4月の連休

4月6日(火) 7日(水)

特集 美術工芸 啓(ひらく)の魅力



『啓』と書いて、『ひらく』と読みます。あまりなじみのない読み方で私自身も読めませんでした。啓蒙、啓発など教え導くという意味があるそうです。と、いきなり脱線しましたが、今回ご紹介するのが、『美術工芸 啓』さんの名古屋帯です。『美術工芸 啓』はかわちやのきもの新聞でも、何度か取り上げたことがあります。今回美しいキモノ2021春号に当店の名古屋帯が掲載されましたので、ご紹介していきたいと思います。『美術工芸 啓』さんは素材や製法にとにかくこだわって、昔からある製法を守っていくメーカーが多い中、日々良い素材、良い製法にこだわっている点にあります。奇をてらった、派手さはありませんが、上質で本物の魅力を有しています。

通常は乾繭からとった糸を使用するのですが、生繭からとった糸は比べると光沢感が変わるということで生繭の糸にこだわったり、本金箔の使用にこだわったりとなかなか伝わりづらいところだと思うのですが、やはりそういった一つ一つのことが出来上がりの完成度を左右してくるのが、ものづくりの面白いところです。今回の名古屋帯はさわやかなグリーンの色が、これからの季節にピッタリ。シックな色の無地に合わせても存在感がありますし、柄の着物の場合は逆に馴染んでくれるのがこの帯の面白いところ。付下げなどとあわせて観劇になっても面白いコーディネートかもしれませんね。よかったら、是非実物を見に来てください。



SNSで情報発信中!

かわちやの新作商品や産地のこと
 ものづくりの話、竹次郎カフェの
 開催日など SNS でも発信しています。

フェイスブック



kawachiya888

インスタグラム



kachuan888



呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

<https://www.gofuku-kawachiya.co.jp>

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539